笑う門には福来たる

㈱日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

待つこえ

いちにち寝ていると
待たれるのは
子どもたちが
帰ってくることである
お父ちゃん
友だいまと
小鳥のように
こえはりあげて
元気よく
帰ってくることである
そして学校であった
いろいろのことを
口早に
枕べで
話してきかせてくれることである

夏休み企画展「若い人たちへ～真民さんからのメッセージ」
7月8日～10月1日まで
坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

雑草という草はない

私たちの身近には多くの植物が生育していますが、名前を知らないものも多いのではないでしょうか。

日本の植物学の父とされる牧野富太郎博士は「雑草という草はない」という言葉を残しており、「雑草」や「雑木林」といった表現を好まなかったようです。

「人の名前を、きちんとフルネームで呼ぶ礼儀があるように、木についても、松、杉、楓、楢、櫟、と固有名詞で呼ぶべきだ」との持論がありました。

どんな木々や小さな草花にも名前があり、自然界で何らかの役割を担って命をつないでいます。人間も少なからず、その恩恵に与かっているはずです。

私たちの社会に目を向けると、やはり多くの人がそれぞれの役割を担い、会社や学校、家庭といった組織が機能しています。

与えられた仕事が小さなものだと感じたとしても、不要な仕事はありません。精一杯仕事に打ち込むことが、組織の発展につながるでしょう。

「雑務という仕事はない」と心得て、日々の業務に当たりたいものです。

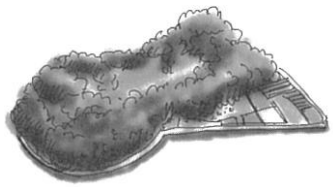
◆すべての仕事に前向きに取り組みましょう

「職場の教養」より

日本再発見！

造山古墳（岡山県岡山市）

全長約350m。全国に5200基ある前方後円墳の中で４位の大きさを誇る。5世紀前半の築造といわれ、その当時最も大きい古墳だったと推測されている。天皇の墓とされていないため、巨大古墳としては珍しく、墳丘まで立ち入りが可能。墳丘の斜面には各段に大量の葺石（ふきいし）が置かれ、後円部には埴輪が並べられていたという。規模も大きく、装飾品も大量にあるため、この古墳は大和政権と拮抗した、吉備政権の大首長の墓というのが通説。



保親さんの人生万感

四季の國いつしか二季に変ったか
暑い夏から肌寒くなる

蝉の声いつしか止みて虫の音が
静かな秋を知らせてくれる

自分自身を尊ぶことは親祖先を尊ぶこと

親先祖から代々受け継がれてきたこの命。「いただきもの」である個性を発揮し、親や祖先への感謝を深めよう。